

石見神楽 大解剖 神石見 楽見

神様を祀るとき、曲に合わせて舞う神事を神楽と言いますが、なかでも石見一円で行われる神楽を総称して石見神楽と呼び、その華麗な衣装やダイナミックで凝った演出などでよく知られています。石見神楽には、有名なスサノオノミコトのオロチ退治を題材にしたものもあり、大人から子供まで大人気です。ここでは、このオロチの迫力を出すための、さまざまな工夫をご紹介します。

演者は、オロチの頭（蛇頭）をすっぽりかぶって舞いますが、この蛇頭の下には蛇柄の布が付けてあり、中の演者も蛇柄の服を着ます。これは演者の姿が、できるだけ観客から見えないようにするためです。さらに演者はとぐろを巻いて、オロチのしっぽで自分の体を隠すように舞います。

より迫力を出したいときは、蛇頭を頭からはずして手に持って舞い、オロチがカマ首をもたげた姿をリアルに演じます。また数匹のオロチが登場し、これらがからみ合っているとぐろを巻くこともあり、その迫力には圧倒されます。

最近では、クライマックスになると、オロチの口から火を吹き出すことが多いようです。火を吹く秘密は、オロチのアゴの内側に花火や硝煙を付け、中の演者がライターなどで点火するというわけです。

いかがです。衣装の内側や舞うための工夫がわかると、神楽がもっと楽しく感じられませんか？



やなぎかくら
鹿足郡日原町・柳神楽